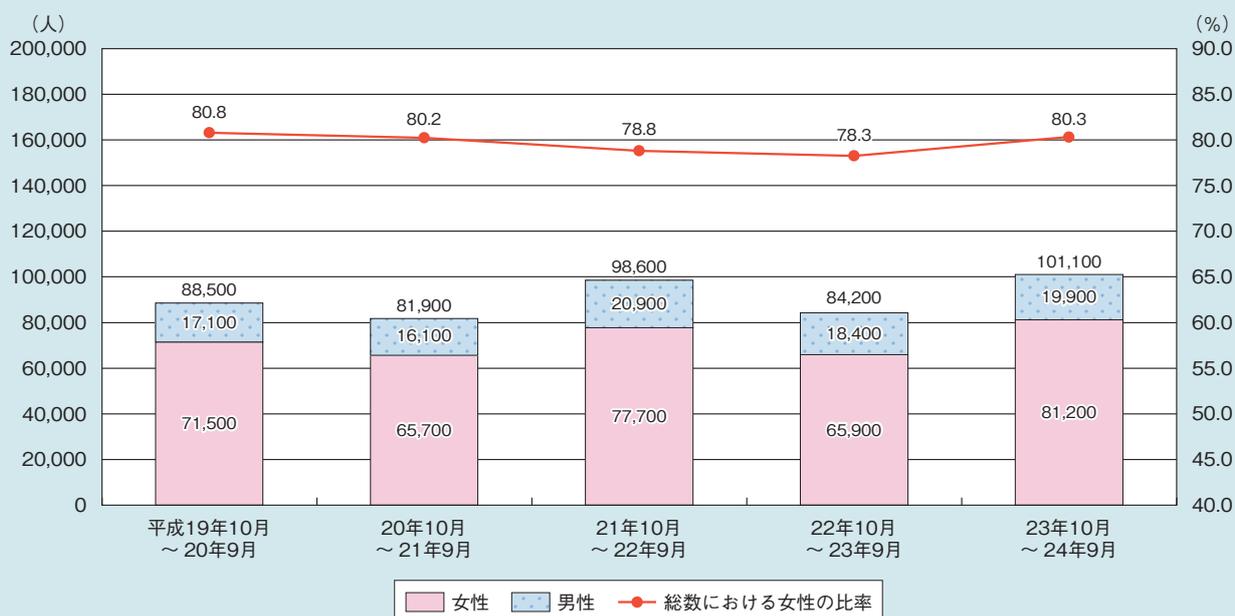


性の方が自宅での介護を希望する割合が高くなっている。自宅以外では、「介護老人福祉施設に入所したい」（男性18.3%、女性19.1%）、「病院などの医療機関に入院したい」（男性16.7%、女性23.1%）、「介護老人保健施設を利用したい」（男性11.3%、女性11.2%）が多い（図1-2-3-18）。

(3) 最期を迎えたい場所は「自宅」が半数を超える

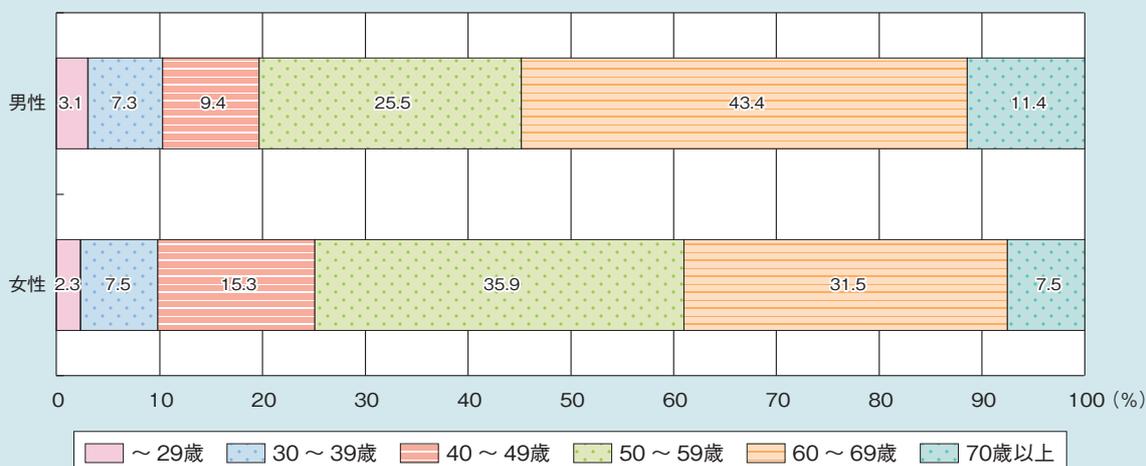
「治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいか」についてみると、「自宅」が54.6%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」が27.7%となっている（図1-2-3-19）。

図1-2-3-15 介護・看護を理由に離職・転職した人数



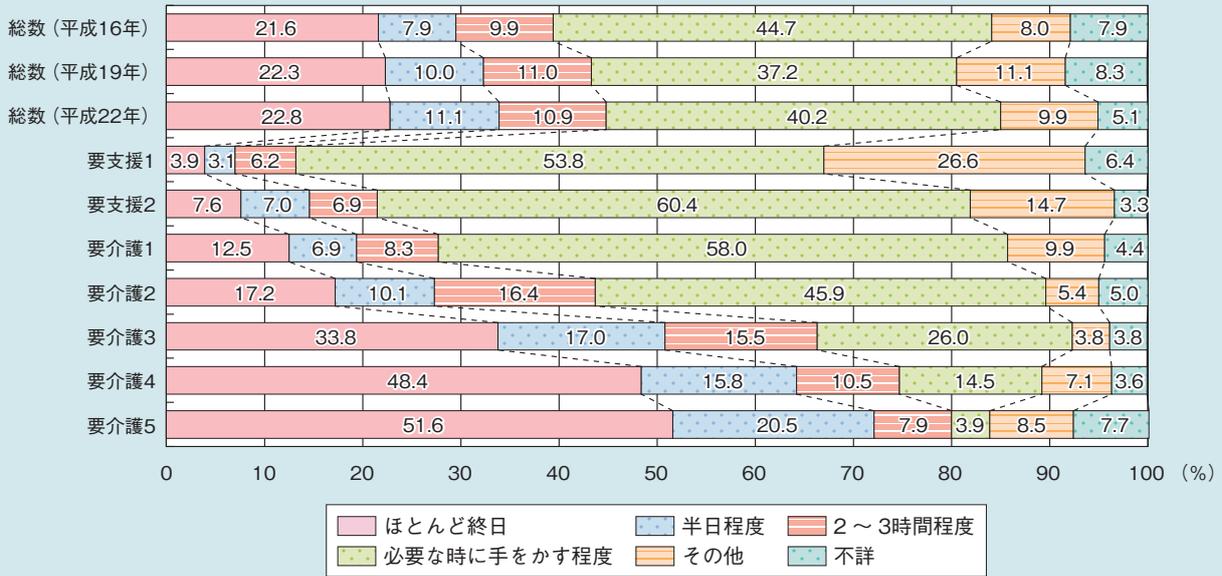
資料：総務省「就業構造基本調査」(平成24年)

図1-2-3-16 介護・看護を理由に離職・転職した人の年齢構成割合（平成19年10月～24年9月に離職・転職した人）



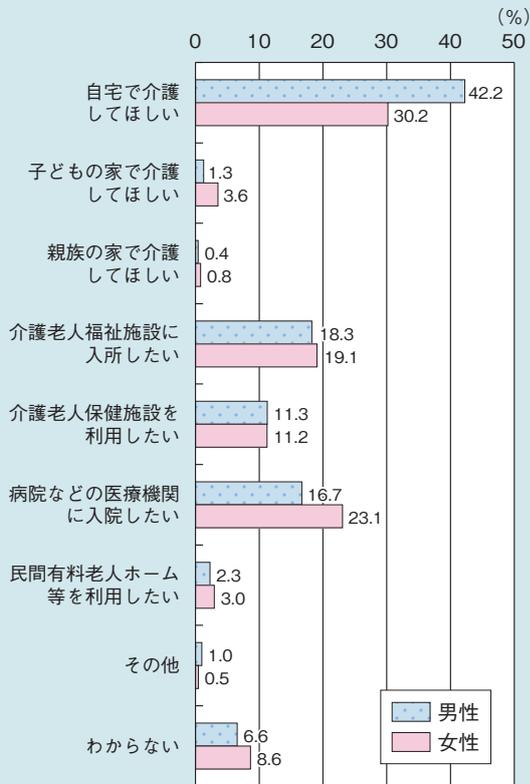
資料：総務省「就業構造基本調査」(平成24年)

図1-2-3-17 同居している主な介護者の介護時間（要介護者等の要介護度別）



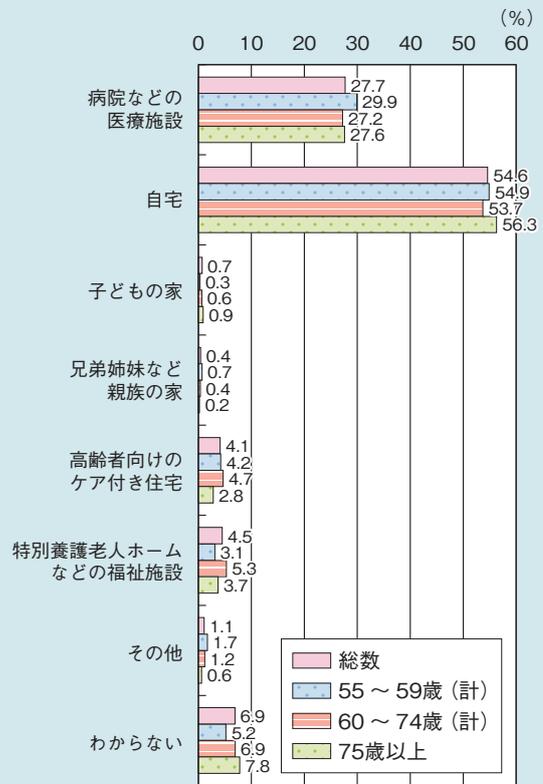
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成22年)
 (注)「総数」には要介護度不詳を含む。

図1-2-3-18 介護を受けたい場所



資料：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」(平成24年)
 (注)対象は、全国60歳以上の男女

図1-2-3-19 最期を迎えたい場所



資料：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」(平成24年)
 (注)対象は、全国55歳以上の男女